

昆明—モントリオール生物多様性世界枠組み（GBF）

2050年の将来像

ビジョン

自然と共生する世界

2050年の到達点

ゴール

①生態系保全、②持続可能な利用、③遺伝資源の利益配分、
④資金や手法の4つの視点による具体的な到達点

2030年までの使命

ミッション

人と地球のために自然を回復の道筋に乗せるため、生物多様性の損失を喰い止めるとともに反転させる緊急の行動をとること。

2030年までに達成すべき
行動の世界目標

ターゲット

自然の危機に 대응するため「生物多様性への脅威の低減」

- | | |
|------|---|
| 目標 1 | 地球上のすべての地域に生物多様性の配慮を広げ、重要な自然の損失をゼロに近づける |
| 目標 2 | 損なわれた自然の 30% を回復させる |
| 目標 3 | 陸・水・海の 30% を人と自然の共生する地域として守り、管理する |
| 目標 4 | 絶滅危惧種を守るための緊急の行動と、人と野生動物の衝突回避を進める |
| 目標 5 | 生物の捕獲や取り引きを持続可能にし、違法・過剰な利用をなくす |
| 目標 6 | 外来種の侵入を突き止め、侵入と定着を半減させる |
| 目標 7 | プラスチック廃絶に取り組み、過剰施肥と農薬のリスクを半減させる |
| 目標 8 | 自然に根差した解決策で気候変動の緩和と適応を推進し、気候変動対策による自然破壊を最小化する |

自然に根差した解決により、人々に恩恵をもたらすため

「持続可能な利用及び利益配分による人々のニーズを満たすこと」

- | | |
|-------|---|
| 目標 9 | 自然資源を持続可能に管理し、特に脆弱な人々への自然の恵みを確保する |
| 目標 10 | 農業、養殖業、水産業、林業地域の長期的な持続可能性と生産性を確保する |
| 目標 11 | あらゆる人々に必要な、水・空気・土や自然の調整機能を守る |
| 目標 12 | 都市の緑地や親水地域を増やし、都市住民の健康と幸福を高める |
| 目標 13 | 遺伝資源から得られる利益の公正公平な配分のためのあらゆるレベルの施策を展開する |

ツールや解決策を充実させるため「実施のためのツールと解決策および主流化」

- | | |
|-------|---|
| 目標 14 | 開発、貧困撲滅、環境影響評価などあらゆる法律・指針に生物多様性の視点を組み込む |
| 目標 15 | 企業や金融機関の行動や情報開示を支援し、企業リスクを減らし、企業による行動を増やす |
| 目標 16 | 市民の持続可能な選択を増やし、食料廃棄の半減や廃棄減少を進める法規制、情報提供を進める |
| 目標 17 | 遺伝子組み換えの適正な管理・利用の能力をすべての国が持つ |
| 目標 18 | 2025 年までに調査し、2030 年までに 5000 億ドル以上の負の補助金をなくす |
| 目標 19 | あらゆる資源を集めて、毎年 2000 億ドル以上の実施資金を生み出す |
| 目標 20 | 実施のための能力向上、技術提供、科学技術の推進と活用をはかる |
| 目標 21 | 効果的な管理や運営と参加のための最新の知識・情報を届ける |
| 目標 22 | 情報、政策決定の参加、司法へのアクセスの機会を、先住民、女性、ユースに確保する |
| 目標 23 | 世界目標達成のための意思決定や行動が、ジェンダー平等の中で実現する |

*上記は、NACS-Jで分かりやすく、短く表現したもの。

環境省から、暫定訳が発表されている。<https://www.env.go.jp/content/000097720.pdf>